



園長だより NO58

冬の到来、寒さが日に日に厳しくなることを感じるこの頃です。

乾燥した日が続くため健康管理にはより気をつけなければなりません。

子どもの生活から - 挨拶

「先生 おはようございます!!」元気を前面に出し挨拶をする光景を多く見ることはありません。園門付近や靴箱など保育室に行くまでの同線では大きな声で「おはよう」と挨拶してる子ども達に会合ことはあります。

保育室ではどうでしょうか？

子ども達の生活空間である保育室、子ども達は7時の開園から順次登園してきます。身支度を済ませるとそれぞれが自分の遊びをみつけ遊びだす。時間の経過とともに没頭し無言で集中して遊ぶ姿はよく目にします。

朝の場面では子ども達の行動(振る舞い)が幾つかに分類されます

- ① 友達に関心を示す ②無関心
- ③ 拒否 ④選択する
- (遊びを探す)

などの子どもの姿が見られます。

① **友達に関心を持つ**については仲良しの友達を待ち「きょうは〇〇ちゃんと〇〇の遊びをしよう」「〇〇ちゃんは今日〇〇して遊んでる」「一緒に遊びたいなー」等の仲良しの友達と遊ぶことに思いを

寄せていること、時には友達が遊んでいるものに興味を持つ、先生と一緒に遊びたい等子ども達の関心は多様です。

② **無関心**は黙々と自分の遊びに没頭している子ども達、友達からの「おはよう」「いれて」などの言葉も耳には入らず、ひたすら、自分の遊びを続けています。

③ **拒否**とは けして悪気があるのではありません。一見、いれてあげない行為をみると大人は「仲間外れ?」と思うかもしれませんが、しかし子どもにはその行為(振る舞い)には意味があることを理解してあげたいものです。

「いまいいところなの」「もうすぐ完成なの」「自分一人で遊びたいの」「実は〇〇ちゃんと約束していたの」等々多くの思いが出てきます。

基本はもくもくと集中して遊んでいるため登園してくる子には無関心な姿がみられ友達に執拗に遊びへの求めを要求され「だめ」「いまやっているから後で」と返答してしまうことも度々

無関心も拒否もそれぞれの振る舞いには子どもなりの理由があるのです。

④ **選択する**。 どの子も遊びを選ぶことから始まるのですが前日からめあてをもって登園する子、登園後に、何して遊ぼうかと考える子 それぞれが一日の

始まりを自分で選んだ遊びをする。これが一日の心の安定に繋がります。

大人は挨拶と言うと元気に大きな声ではきはきとする事をイメージしますが保育園の生活では時と場所に応じた挨拶があります。

7時から順次登園が始まり9時過ぎには子ども達が揃うわけですがひとり来るたびに「おはようの大合唱」では集中している遊びを壊しかねません。

挨拶は心地良いトーンでまたは笑顔でにっこり、時には手をあげて「やー」等いろいろあって良いのです。

保護者の皆様にも朝はさりげなく送り出してほしいとお伝えしたことがあります。

元気もよいのですが保育室は子どもの生活の場、そんなことを心にとめていただければと思っています。

上手いかない「話しことば」

- これから これから

幼児期の子ども達は自分の気持ちや考えを言葉で表現すること、自分の感情や行動を言葉で抑えることを学んでいきます 物事の良し悪しも 「良い、悪い」の2極ではなく、その中間を理解するようになっていきます。例えば「していいこと」「してはいけない」事を言葉にしていくと「いい」「だめ」となるわけです。経験を積み、状況に応じた言葉を

選べるようになれば「今はだめだけどこれが終わったらいいよ」となる「いい」「だめ」ではなく、状況に応じた言葉が出てくるようになってきます。

言葉の獲得や実際の使い方はそれぞれにより異なります。同じ年齢でも獲得の語彙数やその言葉の使い方には違いがあることも心にとめておきたいものです。



コミュニケーションの言葉

人への信頼感(子ども同士なら仲良し感、共同感、)人に働きかけ、人と良い関係を作ろうとすることが乳幼児期の発達の課題と言えるでしょう、関係性の築きには大人にかけてもらった言葉が大きく影響しています。

例えば**断る、交渉する**では大人は「いや、やめて、ダメ、むり、しないで」など日常よく子ども達に使っていることでしょう。

当然、子ども達も生活の中で使っているのです。遊びに「入れて」と友達が来たら「ダメ」「むり」と返答してしまうことも度々「もう少しやったら入れてあげる 待っててね」とは心で思っているも「ダメ」と返答する。

悪気はないのです

子どもの言葉の獲得のプロセスを大人が理解してあげること、豊かな言葉は豊かな経験と豊かな会話が必要とされています。

子どもの言葉を豊かにするためには私たち大人の豊かな言葉が必要なのです。

(園長 廣部信隆)